

松山市教育研修センター

Matsuyama city Educational Laboratory

つどう・つながる・つくりだす

ガイドブック2025



松山市教育研修センター HP

松山市教育委員会



教職員研修事業

「学び続ける教職員」を支えるため、3つの研修（センター研修、OJT支援、自主研修）をバランスよく整備。魅力ある教職員の育成を目指し、「学びがい」のある質の高い研修を実施します。



質の高い研修を実施します!

● 教職員研修のポイント

◆ 研修観の転換

受講者自身が「問い」を持ち、協議や演習などを通して、教育実践を振り返ったり、自己の在り方を問い直したりする場面を取り入れます。研修を一つの足掛かりにして、日々の実践の中で納得解を追究していくものへと研修観の更なる転換を図ります。



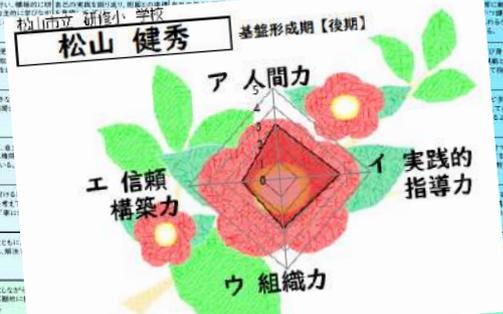
課題別実践力向上セミナー
「デジタルワークシートづくり」

【キーワード①】 参画・聴く・問う

◆ 社会の変化や学校のニーズに対応

特別支援教育やICTの活用、SDGs、防災教育、人権・同和教育等、社会の変化や学校のニーズに応じた内容の研修を行います。

研修形態	基礎形成期 (前期)	基礎形成期 (後期)	向上期	充実期	昇進期	シニア期
研修時間	研修時間: 2年研修(前期研修: 3年研修)	(4年制、5年制)	中堅研修2〜(40歳代)	中堅研修2〜(40歳代)	中堅研修2〜(40歳代)	中堅研修2〜(40歳代)
研修内容	基礎、基盤(土台)の研修、基本研修、実践的スキル研修	基礎的、自己学習実践、実践的スキル研修	基礎、基盤、応用スキル(応用スキル研修)の研修	応用スキル、自己学習実践、実践的スキル研修	応用スキル、自己学習実践、実践的スキル研修	応用スキル、自己学習実践、実践的スキル研修
研修対象	新卒、初任、1年研修、2年研修	2年研修、3年研修	3年研修、4年研修	4年研修、5年研修	5年研修、6年研修	6年研修、7年研修
研修成果	基礎的スキル、実践的スキル	実践的スキル、応用スキル	応用スキル、自己学習実践	自己学習実践、実践的スキル	実践的スキル、自己学習実践	自己学習実践、実践的スキル



「松山市の教員として目指す成長目標」と「椿チャート」

【キーワード②】 実践と研修の一体化

◆ 「松山市の教員として目指す成長目標」の活用

各研修の目的に応じて、「松山市の教員として目指す成長目標」に基づいた自己の目標設定、振り返りの時間を大切にします。経験研修では、「椿チャート」を活用して、自分の強みや伸ばすべき資質能力を客観的に確認できるようにします。

◆ 研修方法の工夫

集合して行う研修は、協議や演習を中心に行い、伝達型の研修はオンラインで実施します。また、経験研修における動画研修は、長期休業日中に視聴期間を設けています。内容等に応じて研修方法を工夫することで研修効果を上げるとともに、子どもと向き合う時間を確保したり、OJTをサポートしたりします。



オンライン研修の様子
(管理職等メンタルヘルス研修)



グループ協議の様子
(新任教務主任研修)



演習の様子
(中堅研修(養護・栄養)III)

● 大学と連携した研修支援

◆ 大学連携室

センター内に設置する大学連携室では、愛媛大学教育学部の先生方に気軽に研修や研究の相談をすることができます(大学連携研究サポート等)。

◆ 大学連携セミナー

大学の一部の授業や外部有識者を招いて行う講座を学校現場の教職員に公開し、実践的指導力の向上を図ります。



大学連携セミナー(道徳)の様子

研修体系

センター研修 (OFF-JT)

自主研修

OJT

シン力期

発展期

充実期

向上期

基盤形成期

【後期】

【前期】

経験や職層に応じた研修

基本研修《職能研修》

- 校長研修
- 昇任校長研修

- 教頭研修
- 昇任教頭研修

- 新任主幹教諭研修

基本研修《経験研修》

- ◎ トップステーション研修

中堅教員育成研修

- ◎ 中堅研修Ⅲ

- ◎ 中堅研修Ⅱ

- ◎ 中堅研修Ⅰ

若手教員育成研修

- ◎ 3年目研修

- ◎ 2年目研修

- ◎ 初任者研修

- 期限付採用教員
ステップアップ研修

専門性を高める研修

基本研修《職能研修》

- 新任教務主任研修
- 人権・同和教育主任研修
- 生徒指導主事研修
- 特別支援教育新担当者研修
- 特別支援教育コーディネーター研修
- 新任進路指導主事研修
- 事務職員研修 他

専門研修・特別研修

《課題別研修》

- 管理職等スキル研修
- 総合危機管理等研修
- OJTサポート研修
- 情報教育授業研究会
- ICT(PG)スキルアップ研修
- 食育推進研修
- 松山市健康教育研修
- SDGs推進研修

《教科等研修》

- 特別支援教育担当者会
- 免許外教科担任教員研修
- 道徳教育指導者研修
- へき地・小規模・複式学級
担当者研修
- 外国語教育研修

《人材育成研修他》

- 松山市教職員研修大会
- まつやま教育研修
センターフェスタ
- 松山市教育研究大会
- 夏季実技研修会
- 初任者サポート研修
- 教科等ベースアップ研修 他

《自主参加セミナー》

- 松山市教科等サマーセミナー
※ 「自主研修」欄参照

自主研修サポート

- 自主研修・自己啓発勉強会・教科等主任会や自主勉強への会場提供及び助言等
- カリキュラムサポート室(教育図書貸出・教材作成室の提供)
- 大学連携セミナー(まつラボ主催/大学主催)
- 課題別実践力向上セミナー(土曜日・長期休業日開催の希望参加研修)
- 教育創造セミナー「松山志成塾」(土曜日開催の自主参加の研修会 高い志と豊かな知見を培い、教職員としての資質向上を図る)
- 教師力涵養セミナー「松山『匠』塾」(平日夜間・土曜日開催の自主勉強会 先輩教師や大学教授等との対話を通して教育観を磨く)

校内研修サポート

- 出前教室(高い専門性を有した専門家や元教員による出前授業) 理科 俳句 書道 落語 音楽 絵画 国際理解 他
- まつラボサポート(校内研修支援・個別支援・研修動画)(学校訪問/オンライン/来所)(学校/グループ/個人)
- 例 各教科等の授業づくり(松山の授業モデル) ICTの活用 ふるさと松山学 特別支援教育 人権・同和教育 他

学校支援事業

学校への訪問研修や講師派遣、教員の相談支援などを企画運営します。各学校における校内研修の推進やよく分かる魅力的な授業づくりを支援します。

各学校に出かけます!

校内研修支援・個別相談事業「まつラボサポート」

学校からの要請によって、センター指導主事が校内研修で講師を務めたり個別相談に応じたりすることにより、各学校の研究推進や授業づくりを支援します。

各教科等の授業づくり（松山の授業モデル）やICT活用、ふるさと松山学、特別支援教育、人権・同和教育等、内容は各校の状況や希望に沿うようにしています。

訪問、来所、オンラインでの対応の他、いつでも視聴できる動画を用意しています。



1人1台端末の活用



「松山の授業モデル」の活用



特別支援教育の個別相談



学習評価についての
校内研修（オンライン）

授業への特別講師派遣「出前教室」

理科、文化や芸術の分野など、専門的な知見と経験のある指導者を授業の特別講師として派遣。子どもたちの興味・関心を高めます。

◆「おもしろ理科出前教室」

大学教授などによる理科の授業

◆「わくわく出前教室」

俳句などの言語文化や芸術等の幅広い分野の授業



自由研究の進め方



校庭の木を見よう



俳句の作り方



国際理解教育
（オンライン）

松山の教育研究開発事業

松山の子どもの実態に基づき、学校や愛媛大学教育学部等と連携して、効果的な学びの在り方や特色ある松山の教育を発信します。

松山ならではの教育を発信!

●学校等と連携した教育研究

東中学校区小中学校（番町小、八坂小、東雲小、東中）等、研究協力校や愛媛大学教育学部等と連携して教育研究を行い、児童生徒一人一人の確かな成長につながる学びの姿を追究します。「松山の授業モデル」を発信し、本市全体で「一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業」の実現を目指します。



研究協力校での授業実践



学校と協働した授業づくり

●研究発表会（センターフェスタ2026）

研究協力校や研究協力員、大学等と協働した実践研究の成果や、今求められている教育の在り方について、具体的な学びの姿として広く発信します。

〈予定日〉

令和8年 **2月12日（木）**



センターフェスタ2025での公開授業
(小学校4年生 国語科、中学校2年生 音楽科)

内容（フェスタ2025の一部）

- ・公開授業・研究協議
小学校：国語科
中学校：音楽科、外国語科、技術・家庭（家庭分野（特別授業）
- ・分科会
I 「ふる松」で広がる俳句の魅力
II デザインツールCanvaを体験！
III 先取り！Google Chromebook
IV 自立した学習者が育つ授業のチカラ
- ・オンデマンド配信による取組発表
(「松山の授業モデル」の実践、今日的教育課題への取組、愛媛大学教職大学院生による発表)

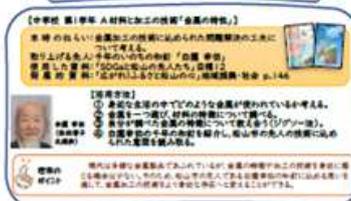
●特色ある松山の教育の開発

松山ゆかりの先人の生き方や文化、歴史を学び、子どもたちにふるさとへの愛着や誇り、将来への志や言葉の力を育むことを目的とした「ふるさと松山学」を推進するために、教材の開発をしています。また、センターホームページでは、先人の紹介番組をYouTubeで公開したり、各学校での取組を紹介したりしています。教材の活用方法等に関する研修や情報発信を行い、教職員への普及促進に努めます。

「ふるさと松山学」教材



技術・家庭科(技術分野)編



「広がれ！ふるさと松山の心」は、一般販売も行っています。



↑購入は
こちらから

年間指導計画の
活用例は
「ecまつやま」に
あります。

【お問い合わせ】 研究開発担当 TEL 989-5148

教育の情報化推進事業

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（授業DX）と、教職員の働き方改革（校務DX）を目指し、授業と校務両面で教育DXを推進します。

GIGAスクール構想の実現！

● 研修・情報発信



1人1台端末活用

生成AI

情報活用能力

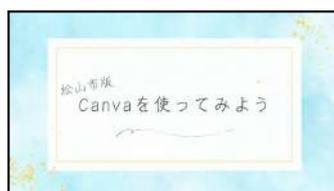
プログラミング教育

クラウドを活用した校務DX

情報セキュリティ

オンライン授業

情報モラル



自主研修等に使えるコンテンツの作成

時代や学校のニーズに応じた研修

● 小中学校及びセンターのICT環境整備



児童生徒1人1台端末



教職員1人1台端末化

指導者用デジタル教科書

学習支援ツール

特別支援教育のための機器

学習eポータル

ICT支援員

システムのクラウド化

校務支援システム

セキュリティポリシー

ICTを学習基盤として活用し
個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実

GIGAスクール構想を推進するICT環境整備

【お問い合わせ】 情報化推進担当 TEL 989-5149

自主研修の場として

教材研究や自主研修のために、開館時間にはいつでも、カリキュラムサポート室や教材作成室などを利用することができます。指導主事や大学教員への授業づくり相談も気軽にどうぞ。

授業づくりを応援します!

月曜日～金曜日	9:00～21:00
土曜日(第2・4)	9:00～17:00



◆個人やグループでの自主研修に各部屋を利用できます。

カリキュラムサポート室以外の利用は、事前に御予約ください。

◆図書やDVDの貸出も行います。

一人5冊まで貸出できます。ミライムでの予約や市送便での貸出・返却も可。1か月以内に返却してください。

◇ なお、研修室が空いているときは、市民の教育文化活動の場として、一般貸出を行っています。

●施設の愛称とロゴマーク・キャラクター

愛称

「まつラボ」

〈意味〉施設の英語名「Matsuyama City Educational Laboratory」の略。松山市の研究所であることを、分かりやすく、かつ親しみやすい音で表している。また、Mを横にすると「3」になるため、隠れた意味として3つの「つ」=キャッチフレーズである「つどう つながる つくりだす」を表現している。

ロゴマーク



〈意味〉まつラボの「まつ」を松の形でデザインし、中に3つの「T」を入れている。「T」は3つの「つ」=キャッチフレーズである「つどう つながる つくりだす」という松山市教育研修センターに込められた思いを表現。また、上の坊っちゃん列車は、「何かあったらまつラボへ!!」という気持ちと、松山らしさを表現している。

キャラクター



〈意味〉「まつラボ」の愛称にさらに親しみをもってもらうために募集したキャラクター。ラボ=「Lab」の文字で顔を作っている。キャッチフレーズの3つの「つ」とひらめきや発見のイメージの「!」で松の木の形をつくっている。

平成28年度、松山市立学校教職員から募集し投票等により決定しました。

気軽に
「まつラボへ
行こう!」

所在地 〒790-0826 松山市文京町2番地1 FAX 089-922-2477
代表 総務(施設予約) TEL 989-5144 ミライム 研修センター (A総務担当)
研 修 TEL 989-5146 ミライム 研修センター (B研修担当)
学 校 支 援 TEL 989-5147 ミライム 研修センター (C学校支援担当)
研 究 開 発 TEL 989-5148 ミライム 研修センター (D研究開発担当)
情 報 化 推 進 TEL 989-5149 ミライム 研修センター (E情報化推進担当)



FLOOR GUIDE(フロアガイド)

① 大講義室 (3F) 標準132名

200名までの研修を行うことができます。
机(100) 椅子(200) ステージ 演台 司会台 天吊りプロジェクタ 音響設備 電動スクリーン(正面) 天吊りサイドモニタ(4) 移動式ホワイトボード(5) 講師控室



② 中研修室 (3F) 標準90名

140名までの研修を行うことができます。
机(70) 椅子(140) 演台 司会台 天吊りプロジェクタ 70インチモニタ 電動スクリーン 音響設備 ホワイトボード(正面壁面) 移動式ホワイトボード(1)

⑦ カリキュラムサポート室 (2F)

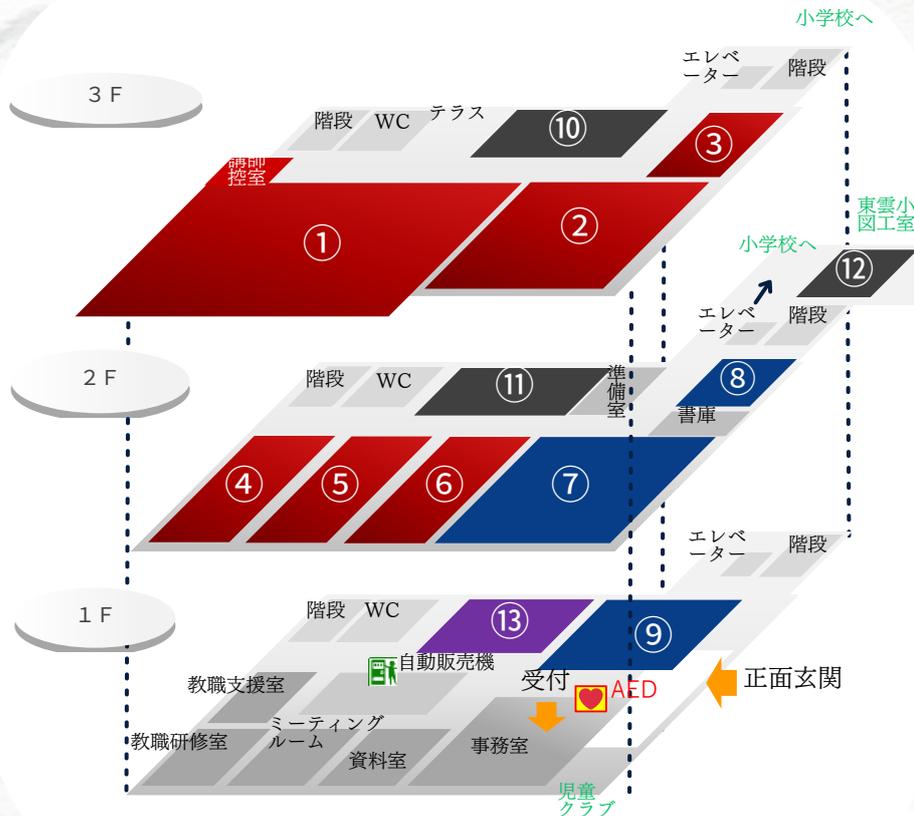
教育図書や教育雑誌、各校の研究集録など、授業づくりの参考としたい様々な資料を閲覧することができます。パソコンコーナーやDVDコーナーなどもありますので、研修の前後など、ちょっとした時間を活用して気軽に御利用ください。



⑪ 実験・作業室 (2F)

理科や技術・家庭科(技術)の研修や研究を行います。

実験台(6) 作業台(2) ホワイトボード(正面壁面)



※ 来館の際には、入館者記録簿の御記入をお願いしています。

⑫ 創作室 (2F 学校棟)

家庭科や図画工作・美術の研修や研究を行います。学校の特別支援学級の授業等でも使用します。奥は小学校の図工室で一体使用もできるようになっています。



センターは全館土足です。学校棟に行く際は、ここで靴を履き替えてください。



東雲小正門をに入って左手です

アクセス

- 伊予鉄道市内電車 赤十字病院前 (約200m)
- 上一万 (約500m)

③ 会議室 (3F) 標準28名

30名程度の会議を行うことができます。
机(10) 椅子(30) 壁面ホワイトボード(2)



一体使用の場合



④~⑥ 小研修室 1~3 (2F) 各36名

仕切りを取り、④~⑥を一体使用することもできます。
机(19) 椅子(37) 司会台 スクリーン 移動式ホワイトボード(1)



⑧ 教材作成室 (2F)

研修したことやカリキュラムサポート室で調べたことをもとに授業の教材教具を作ることができるよう、道具や機器を備えています。事務室に声をお掛けください (電話予約優先)。

大型プリンタ デュプリケータ ラミネータ 文房具等

⑩ ICT研修室 (3F) 20名



タブレット端末を使った少人数の研修や研究を行います。グループ協議にもどうぞ。

⑬ 大学連携室 (1F)

愛媛大学教育学部の本市センター大学連携室担当教員を中心に、大学教員・センター指導主事・学校が気軽に協議できる場です。授業についての個人相談は御予約を。



⑨ コミュニティスペース (1F)

打合せや情報交換に自由に使えるスペースです。正面玄関を入ってすぐのところにあります。



エレベーター



センター・学校の両側に扉があるエレベーターです。乗った側からしか降りることができませんので、必ずセンター側からお乗りください。

1~6 : 教職員研修等で使用していないときは教育文化活動の場として一般貸出を行う研修室。

7~9 : 松山市立学校教職員が教材研究等のために随時使用できる場所。

10~12 : 教科研究・研修室。使用したい場合は御相談ください。

13 : 大学連携室。本市センターの大きな特徴です。お気軽にどうぞ。

センターが目指すもの

松山市教育研修センター（以下、センター）では、「ふるさと松山を愛する児童生徒一人一人の生きる力の育成と幸せの実現」という目標を掲げ、目指すビジョン（教師像・授業像・学校像）を設定しています。その実現のため、センター開設以来の基本理念に基づき、「教職員を元気にする」「授業を変える」「学校の組織力を高める」「大学との連携を促進する」「『ふるさと松山学』を推進する」の5つをミッションとしています。また、「つどう・つながる・つくりだす」はセンターの姿勢をキャッチフレーズにしたものです。

目標

ふるさと松山を愛する児童生徒一人一人の生きる力の育成と幸せの実現
「学校の教育目標」「まつやま教育プラン21」「保護者や地域の願い」の実現

目指す3つのビジョン

【教師像】情熱と実践的指導力をもった学び続ける教師

【授業像】一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを
実感できる授業

【学校像】児童生徒の成長と幸せを全力で実現する
チーム力と活力のある学校

キャッチフレーズ

つどう・つながる・つくりだす

ミッション

- 教職員を元気にする
- 授業を変える
- 学校の組織力を高める
- 大学との連携を促進する
- 「ふるさと松山学」を推進する

（基本理念）

- 1 学校の教育活動を支援し、教職員の元気・指導力・キャリアの向上に寄与する
- 2 研修・研究・実践を一体的に推進し、次代をひらく学びの姿を提案する
- 3 学校と大学等関係機関との連携の拠点として、互いのよさを引き出し、学校力を高める
- 4 「ふるさと松山学」など、特色ある松山の教育や教材を開発し発信する
- 5 教職員が進んで集い学び合える開かれた環境を提供する

体制及び事業

所長

研修担当

〈教職員研修事業〉教職員研修を企画運営するとともに、新たな研修プログラムの開発や教職員のキャリア向上システムの構築を図る。

学校支援担当

〈学校支援事業〉学校への訪問研修や講師派遣、教員の個別支援研修などを企画運営し、各学校の研究推進や授業づくりを支援する。

研究開発担当

〈松山の教育研究開発事業〉小中学校と連携して授業研究や教材開発を行い、公開授業や研究発表会を通して新たな学びの在り方や特色ある松山の教育を発信する。

情報化推進担当

〈教育の情報化推進事業〉学校教育へのICT機器の効果的な導入を推進するとともに、ICTを活用した学習の研究や教材開発及びその普及を図る。

ICT環境整備担当

〈小中学校教育用コンピュータ整備事業〉学校教育へのICT機器の効果的な導入を推進する。

センター運営担当

〈松山市教育研修センター運営事業〉研修室や図書の出借等、センターの効率的な利用とその促進を図るとともに、施設の管理運営、各業務の予算執行などを行う。

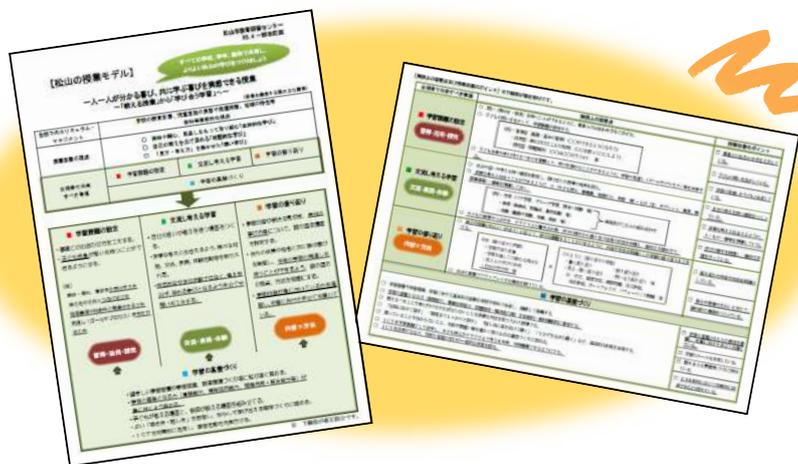
本センターの特色

本センターは3つの特色を有しており、各事業は、これらを生かして展開しています。

〈特色1〉 小中学校との密接な連携による実践的な教育研究

隣接する小中学校をはじめとした学校や研究協力員等と連携して研究を推進し、松山の子どもの実態や地域の特色等に応じた「松山の授業モデル」を、実際の授業の姿を通して提案しています。

センターには、各教科等の指導主事を配置し、学校種・教科等のニーズに応じた研修・研究を行っています。



〈特色2〉 愛媛大学教育学部・教職大学院等との連携協力

センター内に設けた「大学連携室」を拠点として、センターと愛媛大学とが研修の企画・運営及び調査研究を協働して行うほか、授業づくりや校内研修の相談に対応しています。また、愛媛大学の教員養成と現職教育の円滑な接続による教員の更なる資質・実践力の向上を目指し、愛媛大学教育学部及び教職大学院との連携を進めています。



〈特色3〉 松山赤十字病院との連携

隣接する松山赤十字病院と成育コミュニティ・ボランティアの派遣に関する協定を結び、児童生徒の育成支援をしています。

年間10回程度の研修を受けて認定を受けた、医療や教育分野での実務経験がある方や看護師、臨床心理士がこのボランティアを務めています。

さらに、希望に応じて学校に出かけ、授業づくりやOJTを支援したり、夜間や第2・第4土曜日を含め、教職員がすぐに集い研修できる環境を整えたりするなど、「現場に近く、頼れるセンター」として、松山市の学校教育を支えます。

松山市教育研修センターは
松山の子どもたちに これからの社会を生き抜く力と
郷土への誇りと愛着を育む より質の高い教育を行うため
学校教育についての調査研究や
教職員研修を行う拠点となる教育施設です



将来にわたって
魅力と活力あふれる松山市

生きる力と
ふるさとへの誇りや愛着をもった
松山の子ども育成



松山市立学校教育の質の向上



- 魅力ある教職員の育成
- より効果的な授業
- 先を見通した教育施策